

先生各位

No. 25-08  
2025年2月

## 《至急のご連絡》 容器変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
このたび、子宮頸管粘液中 顆粒球エラストラーゼ（容器No. 48）の採取用綿棒が変更になりますので、ご案内申し上げます。この変更に伴い、抽出方法が一部変更となっております。  
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- 変更実施日 2025年2月より順次
- 変更内容

容器No.	新	現行
48	 <p>スワブ容器にラベルあり</p>	 <p>スワブ容器にラベルなし</p>

※赤枠内：変更点

### <抽出方法の変更点>

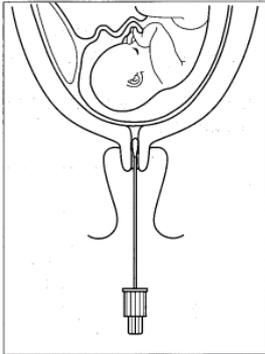
変更点	新	現行
抽出方法	 <p>検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。</p>	 <p>綿棒にしみ込んだ検体抽出液を抽出容器ごと指で押しつぶす等して絞り出した後、綿棒を取り除きます。</p>

裏面へ続く

## <変更後の検体採取方法と抽出方法>

### ●検体採取方法

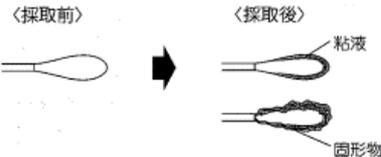
- ①子宮腔部の粘液を綿球で丁寧に拭い取ります。
- ②綿棒を子宮頸管内腔に挿入します。
- ③綿棒をゆっくりと2回転させ、頸管粘液（滲出液）を採取します。



正しい採取部位

### ■注意事項

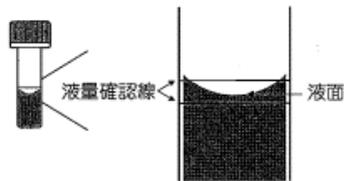
- 1) 子宮頸管部より採取して下さい。
- 2) 検体採取は腔部洗浄前に行ってください。
- 3) 綿棒が外子宮口周辺の分泌物や粘液に接触しないようにして下さい。綿棒の先が初めて接触する部分が頸管内腔であるように挿入して下さい。
- 4) 綿棒1回転あたり約5秒をかけ、自然に粘液（滲出液）をしみ込ませるようにして下さい。少量の固形物が付着した場合には、ピンセット等で取り除いて下さい。又、大量の固形物が付着した場合には、検体採取をやり直して下さい。



- 5) 採取した検体は15分以内に抽出操作を行ってください。

### ●抽出方法

①



抽出液の液面が、抽出容器の液量確認線の間にあることを確認します。なお、抽出液がキャップ中栓に付着している場合があるので、振り落とした後に液面の確認を行ってください。

②



頸管粘液（滲出液）を採取した綿棒を浸けて、2～3分間放置します。

③



綿棒を20～30回細かく上下させて検体を抽出します。

④



検体抽出液がしみ込んだ綿棒を、抽出容器壁面に軽く押しつけて、抽出液が滴らない程度にした後、取り除きます。

⑤



フィルターをセットします。

⑥



検体抽出液を検体保存容器へ濾過します。この時の加圧は1回のみとし、5～7滴（約300μL）を分取します。必要量を得られない場合は検体採取からやり直して下さい。

⑦



検体保存容器にキャップをし、容器ラベルを貼って保存します。凍結にてご提出ください。